

4. アトピー性皮膚炎症状を緩和する 健康機能食品の開発

担 当 機 関 名	研 究 期 間
株式会社 東農園	平成18年度～20年度

I. 3 年の研究成果の要約

1. 研究の背景・ねらい

当社では、絹タンパク質の酵素分解物(シルクペプチド)に顕著な IgE 抗体産生の抑制効果を見出した。そこで、有効ペプチドの作用機作を細胞、分子レベルで明らかにすることによって、科学的根拠に基づいた安心・安全なペプチド原料を開発するとともに、科学的根拠に裏付けられた高品質の健康食品を市場に提供することを目的した。

2. 成果の内容・特長

シルクペプチドに含まれる IgE 抗体産生抑制活性を有するペプチドの構造を決定し、その作用機作についても明らかにするとともに、絹タンパク質（フィブロイン）からの有効ペプチドの生産方法を開発した。また、シルクペプチドのアトピー性皮膚炎症状の緩和効果を NC/Nga マウスを用いた動物試験およびヒト臨床試験によって明らかにした。また、ヒト試験においては、試作したシルクペプチド含有食品（健康食品）を用いて実施し、その効果を確認した。

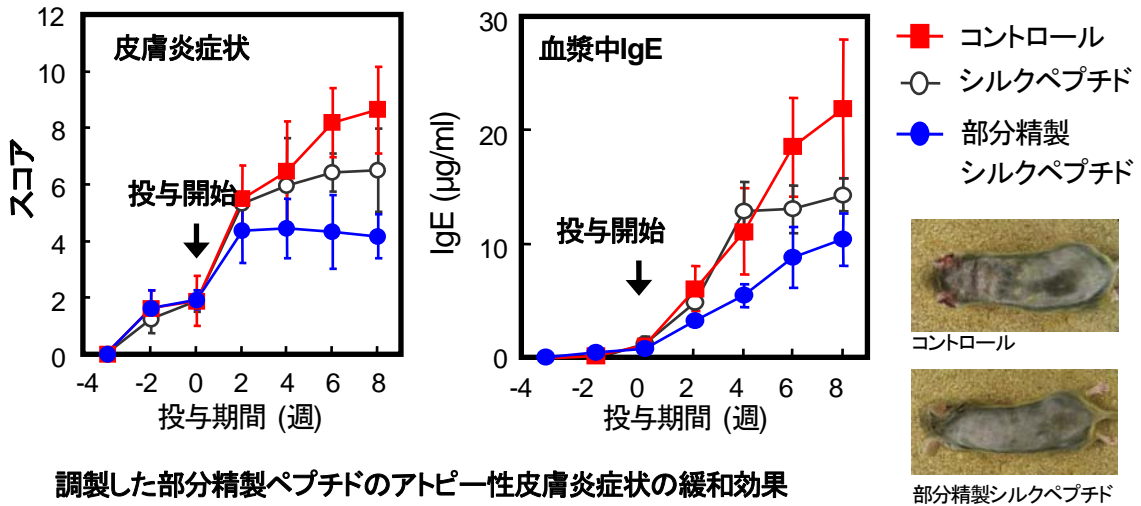
3. 成果の活用

科学的根拠に裏付けられたアトピー性皮膚炎症状を緩和する健康食品を市場に提供し、近年、増加しているアトピー性皮膚炎の患者の日常生活の質（QOL）の向上を図る。また、有効ペプチドを特定し、作用機作を明らかにしたことで、ペプチドの生理活性に関する情報を与えるとともに、今後、他の疾患に対する新規生理活性ペプチドの開発や健康食品の開発に展開できる。

4. 知的財産取得状況

先行特許出願として、「アレルギー性疾患改善用ペプチド組成物及びアレルギー性疾患改善用ペプチド組成物含有食品」、特願 2006-013122、出願日 平成 18 年 1 月 20 日 および 韓国出願 No.10-2007-0003165、出願日 2007 年 1 月 11 日

また、製法などに関して、特許出願を検討中



カプセルタイプ



原材料 シソ油、**絹タンパク質分解物**、ゼラチン、ミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル、梅肉エキス、ビタミンE

内容量 70g
(約465 mg/粒 × 150粒)

1粒あたり100mgのシルクペプチドを配合

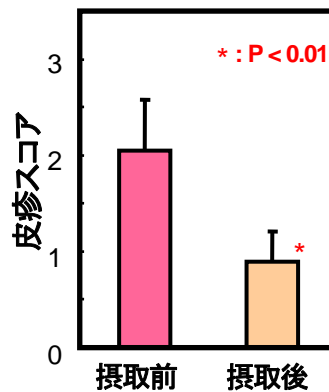
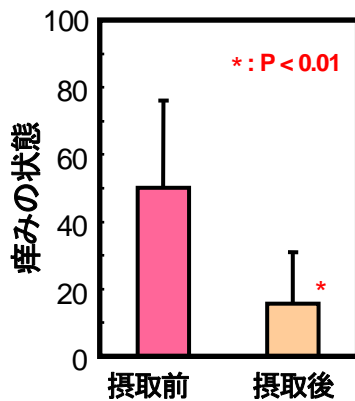
ドリンクタイプ



原材料 果糖ぶどう糖液糖、梅抽出物、**絹タンパク質分解物**、香料

内容量 100ml

1本あたり500mgのシルクペプチドを配合



シルクペプチド含有食品のアトピー性皮膚炎症状の緩和効果

[問い合わせ先：株式会社東農園・梅科学研究所
TEL 0739-74-2487]